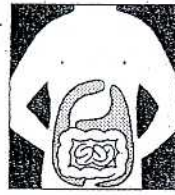


紫斑病性腎炎 いつ服薬終えるか



中学1年の娘は紫斑病性腎炎と診断され、ステロイド剤の治療をした後、現在はニューロタン錠を処方されています。たんぱく尿が少量出る以外は、他に症状はありません。この薬の効能といつ服薬を終えられるかを教えてください。(39歳女性)

関根 孝司

東邦大医療センター

大橋病院小児科教授

(東京都目黒区)

紫斑病性腎炎は、子どもに多く見られる腎臓病です。足のすね側に多発する紫斑、関節炎、腹痛を伴う「血管性紫斑病」(ヘノッホ・シェーンライン紫斑病)になった患者が発症します。軽度なものを含むと3〜4割が腎炎になります。自然治癒する人も多いです

が、一部で重症化します。

腎炎を発症した場合、高度なたんぱく尿がある人や急速な腎機能低下がみられる人は特に注意が必要です。このため、早期に重症度を調べる検査(腎生検)を行い、重症と診断されればステロイドなどで治療します。

相談者のお子さんはステロイド治療を終え、現在、軽微なたんぱく尿があるとのことですので、腎炎はほぼ治癒した状態だと思われる

たんぱく尿のみなら適切な時期に

ます。一方、症状が続いているたんぱく尿は腎臓の毛細血管が集まる「糸球体」という部位にダメージを与えることが知られています。

ニューロタンは、アンジオテンシン2受容体拮抗薬（血管緊張薬）と呼ばれる薬で、たんぱく尿を減少させ、糸球体を保護する効果があります。紫斑病性腎炎でたんぱく尿がある患者さんにも処方される薬です。

服薬中止を検討する際、判断の目安として知っておく必要があるのは、「初期の治療で腎炎がほぼ完治し、現在、腎機能が正常であるかどうか」です。症状が軽微なたんぱく尿のみならば適切な時期に服薬を終えられると思われます。主治医に現状を確認し、服薬について相談してください。

からだの質問箱